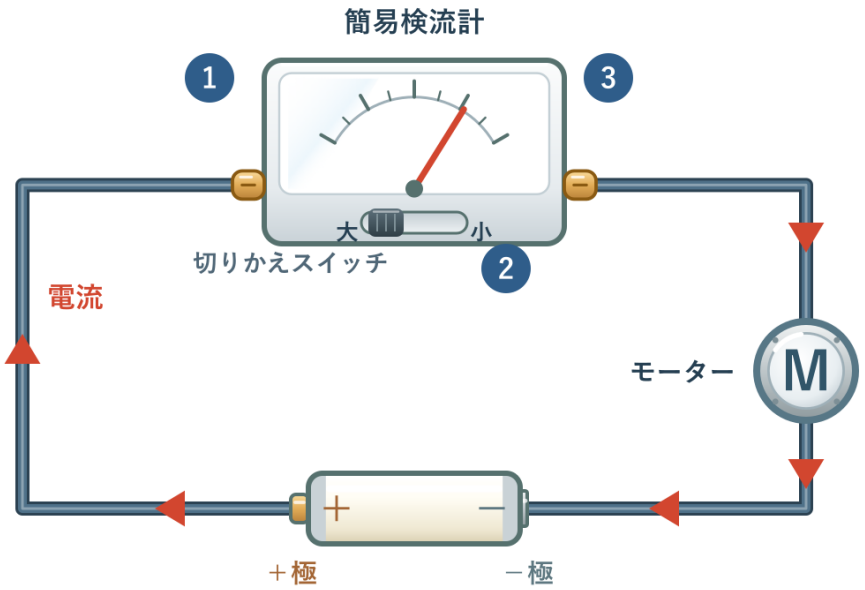
簡易検流計の使い方

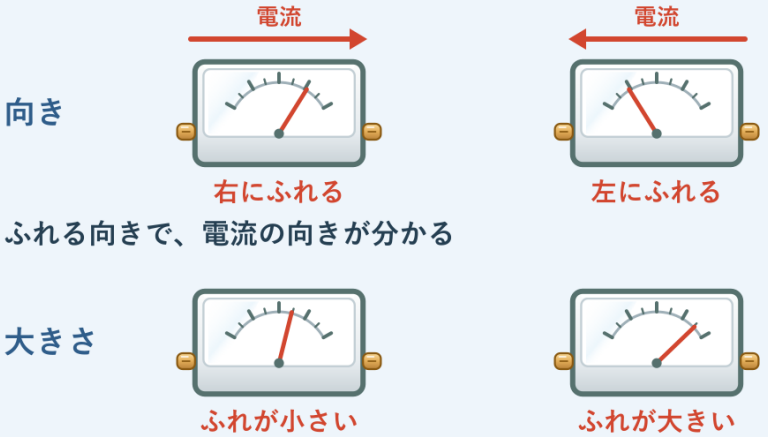
簡易検流計で、回路を流れる電流の向きと大きさを調べるには、どうつなぎ、どこを読めばよいだろう

1 つなぎ方

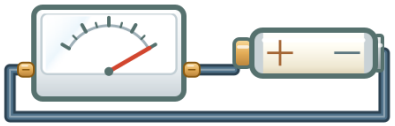


1. 回路のとちゅうに、モーターなどといっしょにつなぐ
2. 切りかえスイッチは、はじめは大きい電流をはかる側にする
3. はりが止まってから、ふれた向きとふれの大きさを読む

2 はりの読み方



✕ よくない例



乾電池と検流計だけをつなぐ。大きな電流が流れて、検流計がこわれる。

! 安全のために

検流計だけを乾電池につながない（こわれる）。はりが目もりのはしまでふれたら、すぐに導線をはずす。
導線だけで乾電池の＋極と－極をつながない（熱くなって危ない）。

※ 模式図。検流計の形・目もり・切りかえスイッチの表し方は製品でちがう。完全な操作手順ではない。